

# 市政に対する一般質問



いちごバス

**問** 柴議員 利便性の高い公共交通網についての考えと、地域間公共交通網づくり及び不便地域の解消に向けた取組について伺う。

**答** 市長 利便性の高い公共交通網とは、真岡鉄道、民間路線バス、タクシーがそれぞれの役割分担の中で連携し、子供や高齢者を初めとする交通弱者の生活支援に対応できる交通網であると考えます。現在の「いちごタクシー」と「いちごバス」の

## 第二期真岡市公共交通網形成計画は



柴 恵 議員  
〔一括質問〕

**問** 柴議員 子どもの子育て支援プランの概要は

**答** 健康福祉部長 これまで本市が取り組んできた、子育て支援に

## 子ども子育て支援プランの概要は

運行内容では、市民の移動需要に対応できていない部分も生じており、本年度に宇都宮大学との共同研究により、市民の意識調査と基礎調査を併せて実施し、移動ニーズなど詳細に調査・分析し市民誰もが利用しやすい地域公共交通の構築に努めていく。

今後の策定スケジュールは、庁内における専門部会と策定委員会を経て、一般市民及び関係機関からの推薦委員により構成された「子ども・子育て会議」で審議し、計画案が了承された後にパブリックコメントを行った後、最終修正を行い、令和2年3月までの完成を目指していく。

## 災害発生時の避難所のあり方は



中村和彦 議員  
〔一括質問〕

**問** 中村議員 災害発生時の避難所のあり方については、見直すべき点があると考えますが、

**答** 市長 浸水が想定される場合は、当該地域に近く浸水の可能性がある福祉避難所については、施設自体の安全性や専門的人材の確保などに関する法令に基づく指定要件があるが、本市としては更に増やしたいと考えているため、今後新たに開設さ



避難所体験

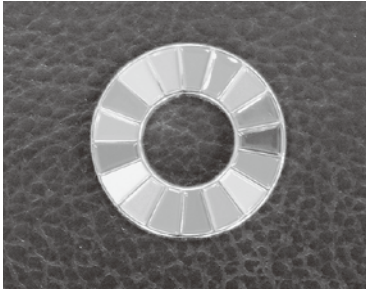
れる社会福祉施設等に協力を呼びかけていく。

関連死対策については、真岡市地域防災計画に盛り込む予定はないが、福祉的配慮が必要な場合は、栃木県災害福祉支援チームなどに支援要請を行い、専門職員により適切に対応していく。

## 新庁舎周辺整備事業の図書館機能は

**問** 中村議員 蔵書数や閲覧スペースなどは現在の図書館と比較して、どのくらいの規模が確保できるのか。また、駐車場や駐輪場はどの程度の確保が見込めるのか。

**答** 総務部長 真岡市の図書館は真岡市立図書館など、2館1室で運営を行っており、複合施設に移転する図書館についても、2館1室としての機能と役割を総合的に考えた上で、蔵書冊数や閲覧スペースを検討し、より一層図書館利用者の利便性向上を目指していく。駐車・駐輪スペースについては、複合施設敷地の駐車場だけではなく、新庁舎駐車場周辺にある公用車駐車場の利活用も含めて、今年度に策定する新庁舎周辺整備基本計画において検討を進めていく。



SDGsの17目標にちなんだ  
17色のパッチ

**問** 荒川議員 SDGsを未来の真の成長に向けた事業展開を進めてはどうか。

**答** 市長 SDGsは、持続可能な社会を目指し、2015年9月に国連サミットで採択されたもので、2030年までに達成すべき17の目標とそれぞれの目標を達成するための169のターゲットで構成されている。

SDGs(エスディーゼーズ)の取組を



荒川洋子 議員  
(一括質問)

現在策定中の第12次市勢発展長期計画や総合戦略の施策においても、SDGsの17の目標と趣旨を同じくするものが多く計画に表示していく予定であるため、これらの施策等を着実に推進していくことがSDGsの取組を推進していくものと考えている。

LGBTへの理解促進を

**問** 荒川議員 制服を性別にかかわらず、スカート・ズボンを選択できるようにしてはどうか。

**答** 教育長 制服の選択性の土台と互いの価値観や個性の違いを認め、LGBTなども含め、多様性を認めることができる力であると考え、本市教育委員会としては、子供たちにそういった力を、学校教育全体を通して育み、子供たち一人一人が違う存在でそれぞれに個性があり、価値観等が違っていても互いに認め合えるという意識を高め、制服を性別にかかわらず自由に選択できる基盤づくりに努めていく。

そして、子供や保護者から要望があった場合には真摯に向き合い、要望に応えられるよう配慮していく。

買い物難民の対策は



春山則子 議員  
(一括質問)

**問** 春山議員 日常生活において衣食住が困難になっている高齢者に対して、民間業者との業務提携による移動販売事業など考えているのか伺う。

**答** 健康福祉部長 高齢者などが何らかの事情から介護が必要になっても、住みなれた地域で暮らし続けることができるよう地域の支援体制をつくるための生活支援体制整備事業を本市から社会福祉協議会への



委託事業として取り組んでいる。社会福祉協議会において、各地域での協議の場やふれあい・いきいきサロンを実施する中で買い物弱者が多いことを把握したため、その解決に向けて民間事業者との業務提携等による移動販売事業の実施に向けた協議をしている。

女性職員のスキルアップ研修は

**問** 春山議員 女性職員のスキルアップに必要な研修と、管理職として必要なリスクマネジメントや危機管理などの研修の実施状況について伺う。

**答** 市長 女性職員のスキルアップについては、勤続10年以上の主査級の職員に対し、「女性職員キャリアアップ研修」を平成25年度から実施している。また、係長昇任時には男性職員とともに通信教育講座、新任管理者のための部下育成コースを受講させるほか、女性活躍推進管理職研修を実施している。

また、管理職に必要なリスクマネジメント等の能力向上については、役職、段階に応じて必要となるスキルを習得するための研修計画を計画的に行っている。



麦倉竹明 議員  
〔一括質問〕

### 観光いちご農園の普及を

**問** 麦倉議員 市内でイチゴ狩りができる施設は何軒あるのか。観光イチゴ園の普及は考えているのか。

**答** 市長 現在市内には10軒の観光イチゴ園があり、またイチゴが購入できる施設として道の駅にのみや、あく里っ娘、JAフレッシュ直売所がある。日本一のいちごのまちを掲げる本市としては、少ない状況にあるため、本市を訪れた方々が気軽に立ち寄り、イチゴ狩りを楽しん



だり、イチゴを購入できる施設の整備は、重要であると考えている。観光イチゴ園を始めるには農地の集積や資金の確保など、さまざまな課題もあるが、現在観光イチゴ園等の整備に向け、先進事例など調査研究に着手したところである。

### 小規模事業者の支援は

**問** 麦倉議員 小規模事業者の事業承継に対する支援、及び従業員等の確保に対する支援策等について伺う。

**答** 産業部長 小規模事業者等の経営に関して、真岡商工会議所及びのみや商工会において相談窓口を設置している。従業員確保に対しては、平成30年度以降地場中小企業へ就業した35歳以下の転入者に対し、最大20万円の支援金を交付するUIJターン就業定住助成事業を実施している。また、雇用機会の創出を図る事業として、市内事業者が参加する合同就職面接会の開催や地元高校生などを対象に、地場中小企業の下さを知ってもらうビジネスマッチング事業を開催している。



櫛毛隆行 議員  
〔一問一答〕

### マイキープラット フォームの活用を

**問** 櫛毛議員 総務省が運用するマイキープラットフォームの利用によって様々な取組が可能だが、真岡市では現在どのようなサービスが利用可能なのか。また、今後どのように活用していくのか。

**答** 総務部長 現在、利用可能なサービスは、自治体ポイント「ベリポ」を利用してオンラインで特産品が購入できるサービス「めいぶつチョイス」のみである。今後は図書



館等の利用者カードをマイナンバーカードに集約すること、地域共助ポイントや健康づくりポイント等、本市独自のポイントを交付し、観光施設や市内商店、公共交通機関等で利用可能とすることなど、市民の利便性向上につながる取組を検討していきたい。

### いちごサミット開催に向けた トイレなどの周辺施設の整備は

**問** 櫛毛議員 イベントサミットは、井頭公園大駐車場をメイン会場に、あく里っ娘、久保記念観光文化交流館、道の駅のみやで行われる。道の駅のみやについては現在リニューアル中だが、ほかの会場のトイレ等の周辺施設の整備はどのように考えているのか。

**答** 産業部長 既存のトイレを有効に活用できるようにわかりやすい案内表示に努める。また、プレサミットにおける検証結果を踏まえ、来場者数に見合った仮設トイレの設置についても十分検討していく。イチゴ狩りシーズン中に不具合のあった、あく里っ娘のトイレについても、当面は清掃等を適宜実施し、今後は浄化槽の改修やトイレの新設など、対応策について検討していきたい。



飯塚 正 議員  
〔一括質問〕

「幼児教育・保育の無償化に伴う  
副食費負担の軽減を

**問** 飯塚議員 10月からの幼児教育・保育の無償化に伴い、副食費

が実費負担となる世帯について、保護者の負担軽減を図るための支援策は。また、制度の周知方法は。

**答** 健康福祉部長 本市では、年収360万円以上で兄弟同時在園

などではない世帯の第3子以降の副食費について国の制度で免除にならないため、4500円を上限として補助する。さらに、第2子の副食費



保育所（運動会）

が無償化前の保育料を上回る世帯には、副食費と従来の保育料との差額分を補助する。周知については、7月に保育園などの施設代表者や担当者に対し、説明会を実施した。また、保護者に対してはチラシを配布し、今後市ホームページや「広報もおか」10月号に掲載し周知していく。

「廃プラスチック問題について  
真岡市のビジョンは

**問** 飯塚議員 廃プラスチック問題について、6月末にG20で「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」

が採択されたが、真岡市としてのこれからのビジョンは。

**答** 市長 「栃木からの森里川湖もりとことかわうみプラごみゼロ宣言」にのっとり、市民

民に対しては「プラス3Rを意識した行動」などを、小売店・販売飲食店には「客へのレジ袋やスプーン等が必要なのかの声かけ、マイバッグの推奨」を、企業や農業者に対しては「再生材や紙、バイオプラスチック等の再生可能資源への代替促進」などを啓発していく。また、市役所においても公共調達における再生プラスチック使用品の優先購入や庁舎内の分別回収の徹底を図っていく。



佐々木重信 議員  
〔一括質問〕

「新庁舎建設への考えは

**問** 佐々木議員 新庁舎建設の考えについて伺う。

**答** 市長 新庁舎の建設計画は、平成23年3月の東日本大震災を契

機に本格的な議論が開始され、基本計画や基本設計の策定にあたっては、市民会議において意見や要望等を聞き、市民サービスの向上や安全・安心の拠点施設、環境への配慮などを基本方針と定め、整備を進めてきた。まちのにぎわいを創出し、活力をも



新庁舎イメージ

たらすことができる魅力ある新庁舎として、来年秋の開庁を目指し、今後も整備を進めていく考えである。建設にあたっては、必要な機能を盛り込み、適正に判断をし、その費用については合併特例債も活用し、できるだけ市の負担の少ない中で発注したと思っている。

「新たなインターチェンジを  
整備する考えは

**問** 佐々木議員 二宮物部地区にインターチェンジを整備する考えはあるか。

**答** 建設部長 新たなインターチェンジの整備は、高速道路への利

便性の向上や産業、観光の振興による地域経済の活性化などの効果が期待される。しかし、整備に当たっては新たなアクセス道路の整備や周辺道路の安全で円滑な交通の確保、また確実な経済効果なども求められることから、現時点において二宮物部地区のインターチェンジ整備は難しいと考えている。現在、令和2年度の供用に向けた国道408号の真岡南バイパスや、一般県道西田井二宮線の石島工区なども整備が進められ、二宮物部地区から真岡インターへのアクセスも向上すると思われる。



七海朱美 議員  
〔一括質問〕

### 公共施設のフリーWi-Fiの設置状況は

**問** 七海議員 ICTインフラの中でも災害に強く、観光関連情報の収集、教育での活用など地域活性化のツールとしても有効な公衆無線LAN、Wi-Fiへの注目が高まっている。真岡市における公民館、分館等へのフリーWi-Fiの設置状況について伺う。

**答** 教育次長 現在、栃木県内の市で、公民館や分館等でフリーWi-Fiが使用できるのは、14市



SLキューロク館のフリーWi-Fi

のうち8市となっている。また、本市の公共施設としては、久保記念観光文化交流館とSLキューロク館の2か所である。これらの状況を踏まえ、市公民館、各分館のフリーWi-Fiの設置については、有効性と必要性及びセキュリティ対策や経費等を含め調査研究をしていく。

### 音声文字変換アプリや難聴者との対話支援機器の導入を

**問** 七海議員 音声文字変換アプリや、難聴者との対話支援機器を導入してはどうか。

**答** 市民生活部長 音声文字変換アプリとは、音声を文字化することにより、聴覚障がい者や外国人とのコミュニケーションを可能にするアプリである。また、難聴者との対話支援機器は、マイクから入った音を明確に分析し、聞き取りやすい音へと交換する卓上型のコミュニケーション機器である。本市では、簡易筆談器や手話通訳者、ポルトガル語・スペイン語・英語・タガログ語に対応する3名の通訳相談員を配置し、相談や手続の補助を行っている。市民サービスの向上を図るため、音声文字変換アプリや対話支援機器の導入について調査研究していく。

### 行政視察に行ってきました

議会活性化等検討委員会及び議会報告会運営チームでは、今後の議会運営や議会報告会を実施するための調査・研究を目的として、それぞれ

に所属する議員16名で、8月20日には神奈川県横須賀市を、8月21日には神奈川県藤沢市を視察しました。

視察では、議員立法や議会災害時BCP（事業継続計画）、議会報告会・意見交換会などについて、視察先の議員などから丁寧な説明を受けたあと、質疑応答を行いました。視察先それぞれの議会において、

工夫を凝らした議会活動が行われていました。



### 市議会ホームページで政務活動費を公開しています

真岡市議会では、開かれた議会活動の一環として、政務活動費に係る収支報告書、領収書及び視察・研修会等報告書について、市議会ホームページで公開しています。

するものです。真岡市では、議員1人当たり年額33万円を交付しています。

ホームページ内の「政務活動費収支状況一覧表」をご覧ください。

#### ※政務活動費とは？

地方自治法の規定に基づき、「真岡市議会政務活動費の交付に関する条例」により、市政に対する議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として会派に交付

